

～第2回ESD国際交流プログラム参加者募集～

ユネスコスクール高校生作文コンテスト

『ずっと地球で生きるために、私たちは何をしなければならないか』

募 集 要 項

日本ユネスコ協会連盟と三菱東京 UFJ 銀行は、ユネスコスクールと持続発展教育（ESD）の普及を目的に、ユネスコスクールの高校生を対象に、昨年度より「ESD 国際交流プログラム」を実施しています。本事業は、標記作文コンテストで優秀な成績を収められた高校生を、2012 年 3 月下旬に、ドイツ・ハイデルベルグ及びフランス・パリ研修に派遣するものです。

海外で視野を広げる絶好のチャンスです。海外が初めてでも、この機会に挑戦してみたいという意欲のある高校生を歓迎します。奮ってご応募ください。

主 催 者： 公益社団法人日本ユネスコ協会連盟 ・ 株式会社三菱東京 UFJ 銀行

後 援： (申請中) 日本ユネスコ国内委員会

応募資格： ユネスコスクールに在籍する現高校 1、2 年生（中等教育学校 4、5 年生）

募集人員： 10 名（予定）

提出書類： 課題作文
『ずっと地球で生きるために、私たちは何をしなければならないか』
原稿形式：Microsoft Word 形式で A4 サイズの白紙（縦）に横書きで 2 枚以内。
2,000 字程度（タイトルを含まない）
第 2 回 ESD 国際交流プログラム参加申込書（様式 A）
学校長の推薦書（様式 B）

選考委員： 浅井孝司（日本ユネスコ国内委員会事務次長
（予定） ・ 文部科学省大臣官房国際課国際協力政策室長）
野口 昇（日本ユネスコ協会連盟理事長）
三木繁光（三菱東京 UFJ 銀行特別顧問）
米田伸次（帝京大学沖永国際理解研究室客員教授）

応募締切： 2011 年 11 月 30 日（水）【必着】（合否通知は 2011 年 12 月下旬予定）
応募書類は郵送のみ、受け付けます。

「第 2 回 ESD 国際交流プログラム」について： 詳細は別紙参照

申込・問い合わせ先

公益社団法人日本ユネスコ協会連盟事務局 ESD 国際交流プログラム担当

〒150-0013 東京都渋谷区恵比寿 1-3-1 朝日生命恵比寿ビル 12 階

Tel: 03-5424-1121

Fax: 03-5424-1126

第2回ESD国際交流プログラム 概要

主催

公益社団法人日本ユネスコ協会連盟、株式会社三菱東京UFJ銀行

実施日程(予定)

- 2012年3月24日(土) 事前研修会(於:成田)
- 2012年3月25日(日) 出発日(ドイツ・ハイデルベルグへ移動)
- 2012年3月26日(月) ユネスコスクール訪問
- 2012年3月27日(火) ハイデルベルグ市内視察、パリへ移動
- 2012年3月28日(水) UNESCOパリ本部訪問
- 2012年3月29日(木) UNESCO日本政府代表部、三菱東京UFJ銀行パリ支店訪問
- 2012年3月30日(金) 市内視察(世界遺産等)、帰国日
- 2012年3月31日(土) 帰国(到着日)

現地受け入れ先の事情により、若干の変更が出る場合があります。

参加費(事前研修会含む):主催者側で負担。

ただし、パスポート取得に関わる費用は自己負担となります。

参加決定者への主な研修課題

- 1.(事前準備・プログラム中)各校のESDの取り組みを英語で発表。(10分程度)
現地でのディスカッションは原則英語ですが、通訳補助が付きます。
- 2.(事前準備・プログラム中)文化交流の準備及び当日の披露。
- 3.(帰国後)A4用紙1枚を目安として、報告書を提出。
- 4.(帰国後)1回以上の帰国報告会の開催。

第1回参加者の声(報告書より)

・最も大きな学びは“ESDについての理解”です。私の学校は「国際理解・外国語教育」を中心にESDを行っているため、私はずっと『ESD=国際理解』という認識を持っていました。しかし、地域に根付いた環境問題に取り組んだり、住んでいる地域について学んだりなど、ESDとは私が考えていたものよりもっと広いものだということを日本全国から集まった他のメンバーや訪問先の方々のプレゼンテーションやお話を聞いて知りました。

・特に日本での震災のこともありエネルギー問題が中心になりました。電気や水の節約からその広報の仕方などたくさん意見がでました。結局続きはFacebookにてお互いの活動を報告し合い、それを各学校で報告し、活動することになりました。帰国後も、つながっていてお互いにいろいろと情報交換をしています。

・私たち学生は日々勉強に阻まれ、思うようにアクションを起こせないことに私はもどかしく感じていたが、その勉強がアクションを行ううえで重要になってくることを三菱東京UFJ銀行の方々から学び、これからの勉強を今まで以上に意欲的に取り組むようになった。また歴史的建造物や世界遺産の視察から、世界史を学ぶことの重要性、日本文化と西洋文化の差異を、身をもって感じる事ができた。自分でも驚くほど、この1週間で自分の思考ががらりと変わり、何事に対しても意欲的に取り組み、自分自身を見出せるようになった。

年 月 日現在

公益社団法人日本ユネスコ協会連盟事務局 行

第 2 回 ESD 国際交流プログラム 参加申込書

ふりがな					性別	男・女	年齢	才
氏名								
生年月日	西暦	年	月	日	出生地			
ふりがな					Tel: ()	-		
現住所					Fax: ()	-		
E mail								
ふりがな					学年	年		
学校名								
ふりがな				ふりがな				
学校長名				担任教師名				
学校				学校 F a x				
ふりがな								
学校住所								
渡航中の国内連絡先	住所:							
	氏名:		続柄			()	-	

私(氏名:) 学校名:)は下記書類と共に E S D国際交流プログラムに申請します。(必要書類が全て整っているかを付けて下さい)

- ()参加申込書(用紙 A)
- ()学校長作成の推薦状(用紙 B)
- ()課題作文「ずっと地球に生きるために、私たちは何をしなければならないか」

上記申請者のプログラム応募を承認します。

保護者氏名()印

ユネスコスクール 学校長推薦書

生徒氏名

上記のものをプログラム参加者として推薦いたします。

年 月 日

学校名

学校長名

印

* 推薦理由